

当院の年男男女女に聞く

新年の抱負

当院の卯年生まれば男性 12 名、女性 31 名の計 42 名です。

藤原 正志 [放射線技師 / 放射線室主任]



仕事面では、病院が力強くステップアップしていく年になるように他部門との協調、職場環境づくりに取り組み、プライベートでは健康を維持するために、体力アップ、筋力アップ、精神力アップをしたいと考えています。趣味の野球ではもう一度マスターズ甲子園出場、市民病院野球部のリーグ優勝を目標に、ゴルフでは石川遼君とラウンドすることを夢見て練習したいと思います。

角南 典生 [医師 / 脳神経外科部長]



還暦。当院勤務 28 年。ことしも頑張っ
て続けたいこと ①6 年目の公民館の脳卒
中・認知症予防講演 ②レギュラー 4 年目
南海放送ラジオ ③もちろん救急当番もま
だまだ頑張るつもりです。継続は力なり。
今年もよろしく。

喜田 啓介 [作業療法士 / リハビリテーション室主任補]



明けましておめでとうございます。今年
は、昨年末に参加した「がんのリハビリ」
を当院でのシステム作りと運用。家庭で
は共働き、県外出身という環境なので家
事と育メンを目指し、兎のように跳ねら
れるよう体の絞込みを・・・
今年もよろしくお祈りします。

樋野 貴子 [薬剤師 / 薬局]



昨年は薬剤師 1 年目ということもあり、何
かと緊張感の絶えない一年でした。年女
といっても特別な感じはありません
が、今年は仕事もプライベートも、昨年
よりも更に充実した一年になるように頑
張ろうと思います。

伊藤 澄佳 [看護師 / 3N 病棟]



昨年はプリセプターとして新人教育に携
わり、自分自身も大変勉強になった一年
でした。今年はこれまでの学びを最大限に
生かしながら自己研鑽に努め、飛躍の年
にしたいと思っています。私生活では、体
力づくりのためにやっているマラソンや綱
引きにも積極的に参加し、さらに充実し
た幸せな一年にしたいと思っています。

看護部 通信

外来看護体制の変革

看護部運営委員
内科外来師長 川本 かよ子



病院の方針で新しいプロジェクトの立
ち上げの準備を行っています。

新しい職種としてクラーク 7 名と看護
事務 15 名を導入し一般診療の補助業務
が実施できる体制作りを行っています。
看護師と協働して、受診される患者様
のサポートに勤めさせていただきます。
クラークについては医師事務作業補助
業務が実施できるよう、病院として教
育期間中です。

看護体制は 4 つのブロック制で専門性
を發揮し、リーダー体制をとる事によ
り情報の周知徹底を図ります。さら
に、応援体制を確立させ救急患者・重
症患者の看護を実践し、看護の質の
確保を行っていきたく考えておりま
す。各ブロック

のリーダーは外来看護スペシャリスト
として育成し、すでに活躍しております。

当院の看護外来も開設後より 10 年
余りとなり、担当看護師に話を聴いて
もらうことが生きがいになっているとい
う患者様も多くいらっしゃいます。在
宅生活での QOL を尊重しながら療養
生活を支え、生活の場で患者様が自
己管理を継続できるようプライマリー
体制での療養指導を行っています。
内科系・外科系での固定チームで実
践しておりますが、今後は外来全体
での取り組みを計画しています。

外来看護として看護の質を保つため
、診療補助内容を整理し、領域別に
看護

師・クラーク・看護事務・看護補助
で協働します。そして、新たな職
種のスタッフの社会経験や人生経験
がプラスになるような活動内容に
取り組めればプロジェクト成功に
つながると考えております。
医師、コメディカルスタッフの協
力が最大の力となりますので、ど
うぞよろしくお祈りいたします。

内科系クラーク、看護事務

